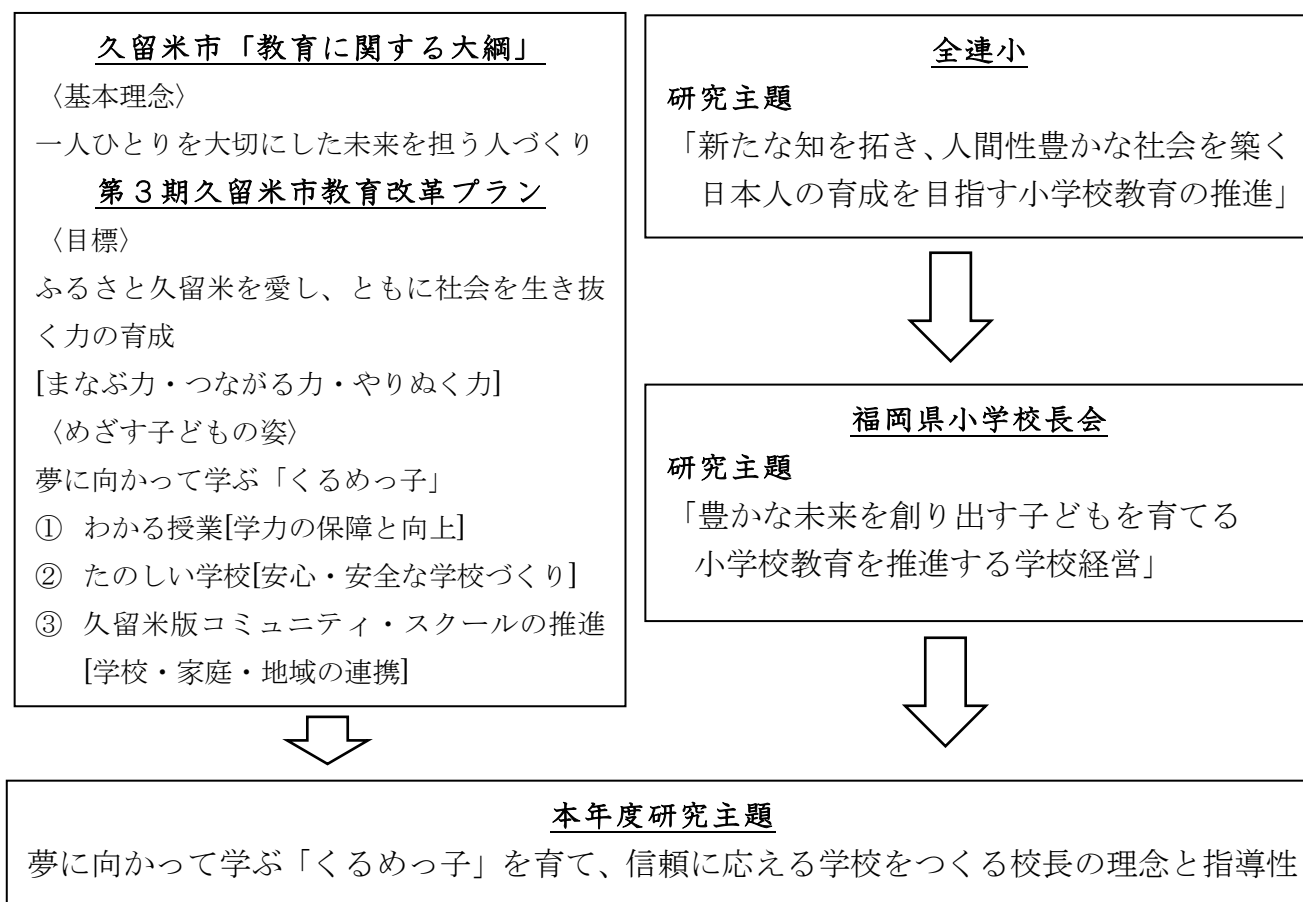


平成31（令和元）年度久留米市小学校長会活動方針



本市においては、教育に関する大綱を受けて、平成28年度から第3期久留米市教育改革プランに基づく施策・事業がスタートした。本年度はこのプランの4カ年計画の最終年度にあたる。これまで、「効果の持続」と「課題の改善」をキーコンセプトに学校力の向上を目指してきたが、学力の保障と向上、不登校の防止と解消については一定の成果が見えてきたところである。その要因を検証し、あきらかになったことを校長会で共有しながら目指す子どもの姿を具現化していく必要がある。

また、本年度は平成32年度からの新学習指導要領の完全実施に向けての移行期の2年目にあたり、特別な教科である道徳、中学年の外国語活動、高学年における外国語の実施をはじめとして新学習指導要領への円滑な移行が求められる。特に、社会と自校とのかかわりを捉え、社会とのつながり考えた教育課程を編成し、社会に開かれた教育課程の実現を目指した取り組みを推進していく必要がある。

このような中、本校長会は、次代の日本、久留米を担う人間力を身につけた子どもを目指して、久留米市教育委員会をはじめ、関連機関と連携・協働し、新しい教育の創造に向け、活動を活性化させ、総力を挙げて課題解決に努め、もって市民の信頼に応えることとする。

そのために、校長は自らの使命を自覚し、志を高く掲げ、権限と責任のもとにリーダーシップを発揮しながら、教育課題・経営課題を明確にし、解決・改善を図る学校経営に努めていかなければならない。その叡智を結集する場が校長会である。本年度は下記の活動を重点として推進する。

- ◇ 第3期久留米市教育改革プランの具現化を図る学校経営の推進
- ◇ 久留米市小学校長会の組織強化と地区・各部活動の充実
- ◇ 課題解決に向けた久留米市小学校長会の主体性の発揮と関係機関との連携
- ※ 久留米市教育委員会、久留米市中学校長会、久留米市小・中学校PTA連合協議会等
- ◇ 次代を担う副校長・教頭、ミドルリーダーの育成